



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月10日

上場会社名 田村大興ホールディングス株式会社 上場取引所 東証一部
 コード番号 6675 URL <http://www.tthd.com>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉岡 正紀
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)井上 洋一 TEL (03)5791-5511

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	9,838	△5.5	△766	—	△715	—	△422	—
19年3月期第1四半期	10,411	△7.5	172	△44.3	219	△32.0	158	△17.3
19年3月期	51,310	△8.4	1,647	△61.5	1,256	△69.6	710	△72.8

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	△6.95	—
19年3月期第1四半期	2.61	—
19年3月期	11.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	55,418	25,188	44.9	409.68
19年3月期第1四半期	55,390	25,662	46.3	422.14
19年3月期	54,418	25,753	47.3	423.74

2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日)

平成20年3月期の連結業績予想につきましては、平成19年5月11日に発表した業績予想を変更しておりません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔注〕詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国の経済は、企業収益や設備投資など全般的に緩やかな拡大基調で推移いたしました。今後につきましては金利や為替相場の動向など景気変動要因があり予断を許さない状況にあります。

当企業グループが属する情報通信ネットワーク関連市場は、光ネットワークの普及に対応した新しい取組みが始められておりますが、当社の主力商品である中小事業所向けキーテレホンシステムにおいては依然として需要の低迷が続いております。

当企業グループは、このような事業環境の急激な変化に対し、早期の事業変革、事業拡大に向けて、体制を刷新いたしました。また、商品ラインアップの拡充、販売チャネルのシナジー効果等によるセキュリティソリューション分野の強化および拡大とキーコンポーネント技術の結集による事業創造を目的として、平成19年4月2日にコビシ電機株式会社と資本および業務提携を行いました。

当第1四半期の連結売上高は、セキュリティソリューション分野では増加いたしました。ネットワークソリューション分野において減少したことにより、98億3千8百万円（前年同期比5.5%減）となりました。損益面につきましては、売上減による利益の減少や販売費及び一般管理費の増加などにより営業損失は7億6千6百万円（前年同期営業利益1億7千2百万円）、経常損失7億1千5百万円（前年同期経常利益2億1千9百万円）、四半期純損失4億2千2百万円（前年同期四半期純利益1億5千8百万円）とそれぞれ悪化いたしました。概ね当初の予想どおりに推移いたしました。

分野別の営業の概況は、次のとおりです。

①ネットワークソリューション分野

収容能力を高めたキーテレホンシステムの受注拡大はありましたが、中小事業所向け市場の低迷が続いていることや公衆電話機の置換え需要の減少により41億7千5百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

②セキュリティソリューション分野

アミューズメント市場向けリーダーライタの減少はありましたが、セキュリティ機器や交通事業者向けカード関連機器などの増加により56億6千3百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の純資産は、251億8千8百万円と前期末に比べ5億6千5百万円減少し、総資産が10億円増加したこと、自己資本比率は2.4ポイント減少し44.9%となりました。

総資産の主な増減要因は、受取手形及び売掛金が18億5千9百万円減少し、たな卸資産が25億5千5百万円増加したことによるものです。また、負債は支払手形及び買掛金の増加9億6千2百万円があり、負債合計では15億6千6百万円増加いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社の売上高は、従来から、上半期においては第2四半期に偏る傾向があり、概ね当初の予想どおりに推移しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金の計上基準等は、一部簡便的な方法を採用しております。

法人税等の計上基準は、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	(参 考) 前期末 (平成19年3月期末)	当期増減
	金額	金額	金額	金額
(資産の部)				
I 流動資産				
現金及び預金	7,881	6,129	6,988	△ 858
受取手形及び売掛金	12,137	11,886	13,745	△ 1,859
たな卸資産	7,490	8,854	6,299	2,555
その他	2,848	2,585	2,225	360
貸倒引当金	△ 38	△ 56	△ 44	△ 12
流動資産合計	30,320	29,399	29,215	184
II 固定資産				
有形固定資産	12,733	13,250	12,761	488
無形固定資産	4,011	4,809	5,006	△ 196
投資その他の資産	8,324	7,898	7,373	524
固定資産合計	25,070	25,958	25,142	816
III 繰延資産				
社債発行費	-	60	60	-
繰延資産合計	-	60	60	-
資産合計	55,390	55,418	54,418	1,000
(負債の部)				
I 流動負債				
支払手形及び買掛金	6,483	8,237	7,274	962
短期借入金	5,781	6,337	5,189	1,147
1年以内に償還予定の社債	60	604	564	40
その他	2,759	2,846	3,688	△ 842
流動負債合計	15,084	18,024	16,716	1,307
II 固定負債				
社債	90	2,426	2,226	200
長期借入金	4,500	961	745	215
その他	10,052	8,818	8,975	△ 157
固定負債合計	14,643	12,206	11,947	258
負債合計	29,728	30,230	28,664	1,566
(純資産の部)				
I 株主資本				
資本金	10,836	10,836	10,836	-
資本剰余金	6,331	6,331	6,331	-
利益剰余金	7,763	7,344	8,313	△ 969
自己株式	△ 1,072	△ 1,080	△ 1,078	△ 1
株主資本合計	23,859	23,432	24,403	△ 971
II 評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	1,782	1,438	1,321	117
為替換算調整勘定	21	26	29	△ 2
評価・換算差額等合計	1,803	1,465	1,350	114
III 少数株主持分	-	291	-	291
純資産合計	25,662	25,188	25,753	△ 565
負債純資産合計	55,390	55,418	54,418	1,000

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増 減	(参 考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	金額
I 売上高	10,411	9,838	△ 573	51,310
II 売上原価	7,869	7,705	△ 164	38,430
売上総利益	2,541	2,132	△ 409	12,879
III 販売費及び一般管理費	2,369	2,899	529	11,232
営業利益 (△営業損失)	172	△ 766	△ 939	1,647
IV 営業外収益	186	242	56	499
V 営業外費用	139	191	52	891
経常利益 (△経常損失)	219	△ 715	△ 935	1,256
VI 特別利益	0	40	40	7
VII 特別損失	3	42	38	115
税金等調整前 四半期(当期)純利益 (△税金等調整前 四半期純損失)	216	△ 716	△ 933	1,148
法人税等	57	△ 300	△ 357	438
少数株主利益	-	6	6	-
四半期(当期)純利益 (△四半期純損失)	158	△ 422	△ 581	710

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高(百万円)	10,836	6,331	8,313	△ 1,078	24,403
当四半期の変動額					
剰余金の配当			△ 546		△ 546
四半期純利益(△四半期純損失)			△ 422		△ 422
自己株式の取得				△ 1	△ 1
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)					
当四半期の変動額合計(百万円)			△ 969	△ 1	△ 971
平成19年6月30日残高(百万円)	10,836	6,331	7,344	△ 1,080	23,432

	評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高(百万円)	1,321	29	1,350		25,753
当四半期の変動額					
剰余金の配当					△ 546
四半期純利益(△四半期純損失)					△ 422
自己株式の取得					△ 1
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)	117	△ 2	114	291	405
当四半期の変動額合計(百万円)	117	△ 2	114	291	△ 565
平成19年6月30日残高(百万円)	1,438	26	1,465	291	25,188

(4) 販売実績

(単位：百万円、%)

期 別 区 分	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)		当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)		比較増減		(参 考) 前期 (平成19年3月期)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
ネットワークソリューション分野	5,274	50.7	4,175	42.4	△ 1,099	△ 20.8	23,194	45.2
セキュリティソリューション分野	5,136	49.3	5,663	57.6	526	10.2	28,116	54.8
合 計	10,411	100.0	9,838	100.0	△ 573	△ 5.5	51,310	100.0